手には技術
頭には知識
患者様には愛を

カマチグループ

社会医療法人社団 埼玉巨樹の会

新久喜総合病院

総合案内

24時間365日断らない病院



Shinkuki General Hospital

24時間365日“断らない病院”

平日のみならず、土日祝日、昼夜関係なく、病院を頼りにするすべての患者様に、全力で出来る限りの医療を尽くします。

当院での最善の治療はもちろんのこと、専門外での治療が必要とされた場合は、他の医療機関に責任をもって紹介をさせていただきます。

地域の皆様や連携診療先の信頼回復向上と医療の質向上に向けて全力で取り組みます。住民の皆様の「困った」が、少しでもなくなるように努めます。

断らない病院



カマチグループ創設者
蒲池 眞澄
Masumi Kamachi



社会医療法人社団 埼玉巨樹の会 理事長
瓜生田 曜造
Yozo Uriuda



新久喜総合病院 院長
秋元 寿文
Hisafumi Akimoto

[病院理念] 手には技術　頭には知識　患者様には愛を

[基本方針]

高度医療 学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

総合医療 患者様と医療情報を共有し、急性期治療から早期リハビリ、在宅医療まで一貫した、患者様のニーズに沿った安全で安心できるチーム医療を提供します。

地域医療 地域の医療・福祉施設と密接な連携を図り、いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域医療の中核病院を目指します。

[患者様の権利と責務]

1. **平等な治療を受ける権利があります。** 患者様は、その社会的経済的地位、国籍、人種、宗教、年齢、病気の種類によって差別されずに、平等な治療を受ける権利を持っています。
2. **治療を自己決定できる権利があります。** 患者様は、医師による明確でわかりやすい言葉で十分な説明を受けた後で、治療を受ける権利、あるいは治療を受けることを拒む権利があります。
3. **情報を知る権利と情報を提供する責務があります。** 患者様は、医師による診断・治療、または変わり得る治療方法・予後、今後予測される問題に関して知る権利を持っています。患者様は、自身の病状や健康に関する正確な情報を提供し、治療に積極的に参加する責務があります。
4. **セカンドオピニオンを受ける権利とプライバシーが守られる権利があります。** 患者様は、自分の医療内容に対して、医師と共同して選択する権利、他の医師からの意見・相談を得る権利、いかなる場合であっても人格的に扱われ、患者様自身の診療に関する全てのプライバシーに関して、万全の配慮を受ける権利を持っています。
5. **相談する権利があります。** 患者様は、十分な情報を得、利用可能な財政的支援について相談する権利を持っています。
6. **良質な医療を速やかに受ける権利があります。** 患者様は、効果的医療行為を速やかに行われることを要求する権利、継続的に支持、検討された質の高い医療を受ける権利を持っています。
7. **病院秩序を守る責務があります。** 患者様は、全ての患者様が安全で良質な医療を受けられるように配慮して頂くとともに、職員が適切な医療を行うことを妨げないよう協力する責務があります。また、医療費を適正に支払う責務があります。

[院長あいさつ] ―― 新久喜総合病院～チーム一丸となって新たなステージへ～

新久喜総合病院は埼玉県北東部の利根医療圏（久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市・杉戸町・行田市・加須市・羽生市）の真ん中にあり、2016年4月にJA埼玉厚生連久喜総合病院の経営をカマチグループが引き継ぐ形で開院しました。

当初は病床数300床、職員約500名でスタートしましたが、2021年4月に行政、医師会及び近隣の医療機関等のご理解を得て、91床の増床を認めて頂き、現在では、ICU16床、HCU20床、ハイブリッド手術室や新型放射線治療装置を備え、現在は391床（急性期：293床、回復期98床）、職員数約1,200名で運営しています。

当院では、施設設備（ハイブリッド手術室・ICU・HCU等）や医療機器（手術支援ロボットda Vinci Xi・IMRT可能な放射線治療機器等）の充実を図り、質の高い医療を提供できるように努めております。

2026年4月には開院10周年を迎えます。医療の充実をさらに進め、今後も久喜市のみならず利根医療圏、埼玉県の医療に貢献すべく頑張ってまいります。

院長　秋元 寿文



診療科のご案内







救急科

新久喜総合病院は、“断らない医療”を救急医療の現場で実践している病院です。

埼玉東北部利根医療圏は、人口当たりの医師数が大変少ない地域です。そんな中で志を持った医師が集まり、忙しい業務をチームワークで乗り越えています。

毎月、600件前後の救急車を受け入れ、1,000～1,500名程度のウォークイン患者様を受け入れています。

当院救急科は、救急科専門医が5名在籍しており、すべての救急患者に対応し、それぞれの専門分野に応じて各診療科の専門医と協力しながら質の高い医療を実践しています。なお、救急外来で患者様を拝見し、各専門医に振り分けるだけでなく、入院から退院まで責任を持って、病院全体が高度救急チームとして救急医療を実践しております。

外　科

当科は、消化器・肝胆膵疾患を中心とした治療を積極的に行っております。超音波、消化器内視鏡、CT、MRIなど最先端の機器を駆使して正確な術前診断を行い、適切な外科治療を提供しております。日本外科学会、日本消化器外科学会等の認定修練施設を取得しており、最先端の医療水準を確保することを日頃の目標としております。

具体的には、食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、膵がんなどの各種悪性疾患をはじめ、胆石症、ヘルニア、痔などの良性疾患、また虫垂炎、腸閉塞、消化管穿孔など救急疾患の治療にも対応しております。

特に虫垂炎、胆石症、大腸がん、胃がんなどでは低侵襲な腹腔鏡下手術、ロボット支援手術を積極的に導入しています。通常の開腹手術と比較して傷が小さく、術後の疼痛が軽減され、入院期間も短くて済みます。また、早期の胃がん、大腸がんでは症例により内視鏡的粘膜切除（EMR/ESD）を消化器内科と連携して行なっており、外科切除を回避する治療も導入しています。

救急疾患は救急科とともに他科と連携して治療に当たっており、24時間の対応が可能です。「断らない医療」をモットーに、地域に根ざした総合的な外科診療体制を整えておりますので安心して受診してください。

大腸肛門外科

新久喜総合病院では平成30年から大腸肛門外来を開始しました。地域のみなさまが気軽に受診できる外来です。

肛門疾患の代表的なものは、痔核、痔瘻、肛門周囲膿瘍、裂肛、直腸脱、ポリープなどです。排便は日常生活での重要な習慣です。おしりの痛み、出血、脱肛、便秘、下痢などの症状は健康で快適な生活を送る上での妨げになるばかりでなく、こじれると入院や手術が必要になります。またそれらの症状の裏には大腸・肛門の癌が隠されているかもしれません。

病院は普通とは違って、「恥ずかしいことはなし」の場所です。大腸肛門の専門医が丁寧に診察いたします。困っている症状は我慢せず早めに受診しましょう。

心臓血管外科

当科は、循環器内科と連携を密にし、虚血性疾患手術（冠動脈バイパス術ほか）、弁膜症手術（弁置換術、弁形成術ほか）、大動脈疾患（大動脈瘤、急性大動脈解離ほか）等の心臓、大血管、末梢血管手術を中心に24時間365日“断らない医療”“質の高い医療”を行っております。また、今年度からスタッフ数が大幅に増員され、待機手術、および緊急対応の幅もさらに広がりました従来当院で行われていた心臓血管外科手術に加え、大動脈疾患に対するステントグラフト内挿術、下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術等のカテーテルによる最新の低侵襲治療も開始し、良好な結果と患者様の満足をいただいております。今後は重症下肢虚血に対するフットケアチームを編成し、他科との連携が不可欠な高度治療にも取り組んでいく予定です。

地域にお住まいの皆様が、万一、心臓血管外科緊急手術を要する状況になってしまわれた際も、質の高い医療を地元で安心に受けていただける様、チーム一丸となって取り組んでおります。



脳神経外科

当科は、新久喜総合病院開院と同時に本格的な診療体制をスタートさせました。脳神経外科専門医がチームで診療体制を敷き、急性期脳卒中をはじめとする脳・脊髄疾患全般に対して、最良の治療を提供すべく日夜努めています。CT、MRI、脳血管造影などの画像診断機器を駆使し、病態の診断を迅速に行い患者さん一人一人の状況を考慮しつつ、最も適切な治療法を選択し実施しています。

手術室においては、MEP、SEPなどの各種電気生理学的モニタリングや、術中ICG(インドシアニングリーン)蛍光血管造影を用いて、より安全確実な手術を行っています。特にくも膜下出血をはじめとする急性期脳卒中や未破裂脳動脈瘤の治療に関しては、経験を積んだ血管内治療専門医と連携し、安全で質の高い、医療を提供できるものと考えています。また、水頭症、脳室内腫瘍などに対して神経内視鏡エキスパートによる、より低侵襲な手術が行われています。

整形外科

『QOL向上を目標として、運動器疾患の治療を行います。』

一般整形外科疾患はもちろん、変形性関節症、骨粗鬆症など幅広い治療を行っております。 救急外傷にも積極的にあたっており救急科(ER)と密接に連携し、24時間救急患者様に対する初期診療や緊急手術にも対応しております。手術症例についてはスポーツ障害、外傷、交通外傷、高齢者の骨折、人工関節など多岐にわたっております。 また、高齢者の方に多くみられます大腿骨近位部骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨頚部骨折については、迅速かつ積極的に手術を行い受傷前のレベルに復帰させる努力を行っております。

入院では個々の患者様に対する症例検討会を実施し、専修医・看護師・リハビリ・医療連携室・研修医等を交えて情報交換、治療方針の決定等を行い情報を共有し医療スタッフの研修育成にも取り組んでいます。

形成外科

身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、みなさまの生活の質 “Quality of Life” の向上に貢献する、外科系の専門領域です。

体表を治す外科であり、主として身体外表の形態異常、醜形、欠損を治癒し、形態的、機能的に正常に近再建する他の外科には無い特徴があります。当院では、日本形成外科認定施設として、熱傷、顔・体幹・手足の先天異常や外傷、多発顔面骨骨折、前頭骨骨折、下顎骨骨折等の顔面骨骨折および顔面軟部組織損傷、耳下腺腫瘍等の皮膚良性および悪性腫瘍、瘢痕、ケロイド、壊死性筋膜炎、皮膚難治性潰瘍、褥瘡、眼瞼下垂、睫毛内反症など、形成外科全般を取り扱っており、急性期救急病院の特性上、外傷形成外科に力を入れております。切断指再接着術や顔面骨骨折観血的整復術においては関東圏でも有数の症例数を誇ります。また多数指切断再接着術や遊離皮弁術、両側リンパ管静脈吻合術等長時間に及ぶ手術では顕微鏡を2台使用し、手術時間の短縮を図っております。

乳腺外科

当科は、乳がん、乳腺腫瘍の診断、治療を行います。しこりなどの症状がある方、健診で要精査となった方の精密検査から、乳がんと診断された方の拡がり診断・転移検索、手術、術前後の薬物療法、経過観察、転移再発乳がんの薬物療法を行います。患者さんを中心とした集学的治療を各科・診療部門が連携して診療にあたります。

その他、線維線腫や葉状腫瘍などの良性疾患の診断、治療も行っています。乳房温存術後や転移再発時の放射線治療も当院で実施可能です。

呼吸器外科

当科では、心臓大血管と食道を除く胸部外科疾患を扱います。そのため、原発性肺癌、難治性の感染症（膿胸や肺化膿症）、気胸などの胸膜疾患、胸壁疾患、縦隔疾患、胸部外傷など取り扱う疾患は多岐にわたります。

昨今の医療の発展により、一つの病気に対して治療の選択肢が複数あることも珍しくありません。患者さんおよびそのご家族の方へは個人の病態について説明させていただき、どのような治療方針にするかをよく相談しながら治療にあたります。治療方針を決める課程では、内科医、放射線科医、病理医など他の医療スタッフにも意見を聞きながら患者さん個人にとって良いと考えられる選択肢を提示できるよう心がけます。また、さらに多くの治療法からの選択をご希望される場合には、他院でセカンドオピニオンを受けていただくこともできます。

現在、呼吸器外科は常勤医師１名、非常勤医師１名で診療を行っており、抗がん剤による肺癌の化学療法やその他の呼吸器内科疾患にも対応していますが、呼吸器内科常勤医は配置できていないため一部治療を行えない疾患もあります。その場合には近隣病院やクリニック、都内大学病院と連携を行いながら治療にあたります。

埼玉県は人口あたりの医師の数が日本中で最も少なく、当院も厳しい状況におかれていることは例外ではありません。しかし、出来る限り地域の皆様に貢献できるよう一般診療、救急診療共に一生懸命取り組んでいきます。

脳脊椎外科

当院は、「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」を基本理念とし、24時間365日断らない病院として地域医療に貢献できるよう目指しております。

超高齢化社会に突入し、頸椎、腰椎など脊椎疾患の患者様が増加傾向にあります。当院では、痛み・痺れなどに対して、神経を扱うスペシャリストである脳神経外科専門医が脊髄脊椎治療を積極的に行っています。特に脳神経の処置にも応用可能な顕微鏡手術を駆使した脊髄脊椎外科治療を得意とし、患者様が早期回復・早期社会復帰できるよう可能な限り低侵襲治療をこころがけ、術後早期から専門のスタッフがリハビリテーションを行います。

また、高齢化に伴い増加傾向の骨粗鬆症による圧迫骨折（いつのまにか骨折）に対しては、傷口の小さい低侵襲治療である経皮的椎体形成術（Balloon Kyphoplasty:BKP）で早期に腰痛から解放されることを目指すだけでなく、将来の骨折予防のため、整形外科医や医療スタッフと連携をとりながら骨粗鬆症の薬物をはじめとした保存的治療にも取り組んでおります。

痛みや痺れを我慢して症状を悪化させてしまうケースもありますので、少しでも違和感がありましたら、まずは当院に受診していただければ、スタッフ一丸となって改善できるように努めてまいります。どうぞお気軽にご相談ください。

総合診療科

総合内科あるいは総合診療で扱われる患者は多彩です。訴えも軽く一見してたいした他覚所見もないようにみえて、時に重症化してしまう例もあります。それらの初期診療を適確にこなすには、専門的総合的に診る心と眼が求められます。高齢者社会で、多病変を有する方の増加もあって、診療所からの精査依頼も少なくありません。一方で、健康診断や検診・人間ドックなどが普及しているにもかかわらず、その結果が適正に生かされていないままの例も多く、それらの相談にも係わっています。

消化器内科

当科は、消化管及び肝胆膵の幅広い消化器疾患に対応しています。
上部消化管内視鏡検査、大腸内視鏡検査、腹部超音波検査、CT検査、MRI検査を駆使し、早期の診断に努めています。

逆流性食道炎、胃十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患、総胆管結石、ウイルス性肝炎などの良性疾患、また、食道、胃、十二指腸、大腸、肝、胆道、膵臓の悪性疾患についても、外科と連携し対応いたします。

早期の食道がん、胃がん、大腸がんに対しての内視鏡的粘膜切除術（EMR）、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）も積極的に行っています。

出血性胃十二指腸潰瘍、食道胃静脈瘤破裂、大腸憩室出血などの消化管出血、総胆管結石による急性胆管炎など緊急を要する疾患においても救急科と連携し24時間の対応が可能です。

患者さんに最適の医療になるように努めてまいります。どうぞよろしくお願いします。

循環器内科

当院循環器内科は、不整脈、特に心房細動の治療を得意としています。薬物治療から根治を目指すカテーテルアブレーションまで幅広く対応。さらに、服薬中に脳梗塞を発症された方や、出血の副作用で抗凝固薬の服用が困難な方には、最新の「左心耳閉鎖術」もご提案できます。心房細動の全ての治療選択肢を揃えていること。これが当科の最大の強みです。

また、心臓血管外科と一体の「ハートチーム」として、狭心症・心筋梗塞、弁膜症、足の血管の病気にも対応します。カテーテル、外科手術、そして両方を組み合わせた「ハイブリッド治療」の中から、チームで最善の道をご提案します。

脳神経内科・リウマチ科

日本臨床免疫学会認定・免疫療法認定医、日本リウマチ財団リウマチ登録医として関節リウマチに対するメトトレキサート（MTX）導入、関節リウマチに対する生物学的製剤導入を数多く経験してきた内科担当医が整形外科学会専門医と密接に連携しながら、疾患の治療および副作用管理をさせていただきます。中規模病院のフットワークの軽さを活かしながら、採血やMRIなどの検査から治療までをスムーズに行わせていただきます。外来を受診するのに何週間もお待たせすることはありませんのでご気軽に受診ください。

代謝糖尿病内科

糖尿病の患者数は年々増えており、だれもがなりうる病気です。軽症のうちは特に症状がなく、健診などで指摘されても、そのまま放置される方も珍しくないと思われます。

ただ、これらを放置することで後に心筋梗塞や脳梗塞などの動脈硬化性疾患や様々な合併症を引き起こしやすいことが知られています。血糖を十分にコントロールすることで、糖尿病による合併症の発症や進行を防ぎ、健康な人と変わらない日常生活を送ることができるよう、地域の糖尿病診療に貢献できればと思っています。

お困りの事がありましたらお気軽にご相談ください。

婦人科

当科では、思春期から老年期に至るまで、女性のライフステージに応じた診療を行っております。月経困難症、過多月経、不正出血、外陰部不快感、子宮下垂感など、日常生活で直面するさまざまな“悩み”から、子宮筋腫や子宮内膜症といった“良性疾患”を中心に、幅広く対応しています。

特に、患者さまの身体的負担を軽減する“婦人科低侵襲手術”に力を入れており、従来の腹腔鏡手術に加え、お腹に傷をつけないvNOTES(腟式の腹腔鏡手術)という新しい術式も積極的に導入しています。これにより、子宮を全摘した場合でも、術後2〜3日での退院が可能となっています。さらに最近では、ロボット支援手術も導入し、より精度の高い手術を提供できる体制も整えております。

今後も、近隣の基幹病院や大学病院と連携を図りながら、地域の中核病院として安心・安全かつ質の高い医療の提供を心がけ、この地域の女性をトータルにサポートしてまいります。

泌尿器科

当科では尿路と男性生殖器に関わる良性・悪性疾患の治療を専門としており、急性期から社会復帰まで、全力で信頼される泌尿器科医療に務めています。

ロボット手術センター開設以来、ロボット手術を中心に内視鏡、腹腔鏡手術による癌手術・尿路結石手術を積極的に実施しています。一方、開腹手術や他科との合同手術、緊急手術などにも迅速・的確に対処します。

尿路結石に対する体外衝撃波砕石術、前立腺肥大症に対する最新の水蒸気蒸散術も導入しています。

外来では、化学療法、放射線治療、日帰り手術にも対応可能です。

入院治療では、専門治療と並行して、医師、看護師・薬剤師・理学療法士・相談員等、多職種が連携して、リハビリ、排尿ケア、退院支援を行い、早期離床・早期退院を目指し、さらに近隣の診療所や病院と密に連携し、切れ目のない医療を提供しています。

全身状態や年齢をふまえて安全性を十分考慮し、個々の患者様に適した医療を提供いたします。

麻酔科

麻酔科は、患者様が手術や検査を安全に受けられますよう、麻酔を駆使する診療科です。麻酔科学の進歩により、近年では、ご高齢の方や持病のある患者様でも安心して手術が受けられるようになりました。当科では、手術内容と患者様の身体的精神的状態を把握して、全身麻酔、硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔、神経ブロック等を組み合わせ、最適な麻酔を提供しています。術後の痛みに対しても、複数の方法、薬剤を用いて、その軽減を目指しています。

手術室スタッフ一同、患者様が安心、安全に周術期を乗り越えられますよう努めてまいります。

病理診断科

“見えないモノ”を“見えるカタチ”に。病理診断科は、病気の診断・治療・経過の指針となる患者様の情報を臨床の現場へ提供することを業務としています。当院検査科では24時間・365日常に臨床検査技師が常駐し、昼夜問わず質の高い検査の提供を行っています。

病理検査室では、組織検査、細胞診検査、術中迅速検査、病理解剖を行っており、必要に応じて、免疫染色や電子顕微鏡的検索・PCR等の分子生物学的手法を用い、より的確な診断が行えるように心がけています。

また、CPCやキャンサーボード、各種カンファレンス等を積極的に行い、臨床各科や他部署との意見交換や連携を深め、より適切な診断・治療が行えるように協力しています。

耳鼻咽喉科

当科は、耳、鼻、のど(咽頭・喉頭)、くび(頸部)などの炎症、腫瘍、外傷などを主に診療しています。また、きく(聴覚)、におう(嗅覚)などの感覚器や、話す(発声)、食べる(摂食・嚥下)などの機能をつかさどる器官を取り扱う診療科でもあります。

病気を治すため、あるいは生きるために必要な手術、処置はもちろん大切です。一方、よりよく聞きたい、自分の声を出したい、自分の口で食べたいといった、生活の質を高めるための医療も重要視されるようになってまいりました。医師不足や偏在化、夜間救急の問題など、医療を取り巻く環境は非常に厳しくなっていますが、耳鼻咽喉科医として力になれるよう、誠心誠意努力いたします。



放射線科（診断部門）

画像診断センターは外傷、炎症性疾患、悪性疾患を問わず、治療の可否・診療方針の確定に重要な役割を担う画像診断を担当しています。CT検査、MRI検査、核医学検査、X線検査などを駆使して様々な病態の解析を行い、各診療科の診療業務の支援を行っています。これらの報告書は全て、放射線専門医認定合格者が作成し、迅速で精度の高い診断を目指しています。
また、院内カンファレンスを通じて、疾患に対する病院のコンセンサスを調整し、他科との連携を図ることで、より高度な医療を目指しています。さらに、画像診断を用いた治療であるIVRは指導認定医が常勤し、24時間体制で対応に当たっています。

各画像検査は患者様に最適の情報を提供するために、放射線科医・放射線技師・看護師及び医療事務員が協同して、患者様に優しくかつ、迅速・円滑な検査業務に努めたいと考えています。

放射線科（治療部門）

「高精度の放射線治療を地域で受けられる」

当院の放射線治療部ではX線を用いたがん治療を行います。2021年に新型放射線治療装置を導入し、いままで利根医療圏内では困難であった高精度の治療が可能となりました。

放射線治療はその特性上、長期間の通院が必要となります。都心まで通院することなく、利根医療圏で放射線治療を受けることで患者さんの負担は軽減します。
地域での持続可能な「質の高い」がん治療完結を目指します。



特徴的な取組み

透析センター

当院には、37台の透析装置を有しており、血液透析療法を中心とした血液浄化療法を提供しています。各ベッドにはテレビを備え、男女別更衣室にロッカーを設置しています。主に慢性腎不全に対する血液浄化を行っておりますが、その他にも急性期や重症の患者様に対する各種血液浄化や血漿交換療法等にも取り組んでおります。

また入院・手術が必要な合併症等の発症時には、当院各診療科の専門治療を受けながら透析を行うこともできます。



DMAT

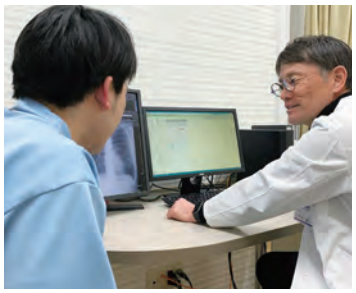
DMATとは医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され大規模災害や多数傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（48時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって略してDMAT（ディーマット）と呼ばれています。

当院では医師4名、看護師7名、業務調整員2名のDMAT隊員が登録されており、国や県が開催する訓練への参加をして技能向上を行い、有事の災害に備えています。また、久喜市の防災訓練等の参加協力、防災に関する講演での講師を行う等、地域の防災活動にも力をいれています。

実働実績：平成27年9月　関東・東北豪雨（鬼怒川洪水）
令和 6 年1月　能登半島地震

人間ドック



早期発見・早期治療で安心を手に入れる

人生をより充実したものにするために、健康であることは誰もが願うことです。しかしながら、社会環境の変化、食生活の欧米化、生活上のストレス等から生じる生活習慣病を患う方は年々増加しています。生活習慣病は「痛み」などの自覚症状を伴わずに静かに進行し、病気の早期発見・早期治療が困難で「がん」「心臓病」「脳卒中」という重篤な病気を引き起こしてしまうこともあります。そこで『人間ドック』で行う総合的な健康診断は、自身の健康状態の把握に非常に有効です。当院は最新の設備と豊かな経験を生かし、「病の芽」の発見・治療に大きく貢献していきます。

人間ドックの特徴

○内視鏡を含めた基本コースからMRIを使用した脳ドック、精度の高いCT画像での肺ドック等、全身の検査が可能です。

○大腸内視鏡・マンモグラフィー・乳房超音波など、オプション検査も充実しています。



回復期リハビリテーション病棟

脳血管障害や骨折の手術などのため急性期で治療を受けて、病状が安定し始める頃、発症から1～2カ月後の状態を「回復期」といいます。この回復期といわれる時期に集中的なリハビリテーションを行なうことで、低下した能力を再び獲得するための病棟です。

対象の患者さまに対して、機能の回復や日常生活で必要な動作の改善を図り、寝たきり防止と社会や家庭への復帰を目的としています。患者さまの疾患発症の内容や、現在の状態を考慮し、一人ひとりに適切な内容のリハビリテーションプログラムが組まれ、医師、看護師、看護補助者、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士等が共同し、集中的なリハビリテーションを提供しています。

対象疾患

- ○ 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血の シャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後、又は義肢装着訓練を要する状態
- ○ 高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷
- ○ 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折、又は2肢以上の多発骨折の発症後、又は手術後
- ○ 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後

- ○ 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後
- ○ 股関節又は膝関節の置換術後の状態
- ○ 急性心筋梗塞、狭心症発作、その他急性発症した心大血管疾患または手術後の状態





訪問リハビリテーション

介護保険を利用し、利用者様が住み慣れたご自宅でリハビリを実施します。利用者様の能力を最大限に引き上げ、その人らしい自立した日常生活が行えるように、リハビリを行います。また、利用者様の興味・関心を聴取し、活動・参加に目を向け、1人1人に合った個別リハビリを実施します。

通所リハビリテーション

通所リハビリテーションでは、『出会いを大切に、運動を継続して逞しく自立した生活を送るために』をコンセプトに取り組んでいます。

ひとり一人に合ったリハビリを考え、利用者様が継続して意欲的に取り組めるプログラムを提案し、他の利用者様と励まし合いながら運動ができる環境を作っていきます。

リハビリテーション科

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師、看護師、ソーシャルワーカーで連携をとりながら、患者さんの回復をサポートできるよう、約200名のリハビリスタッフを配置し365日体制でリハビリを行います。入院中は今までの生活と比べ安静の時間が多く体力が落ちてしまいます。手術翌日やICUからの積極的なリハビリはもとより、リハビリ時間以外の活動にも注目し、運動量を確保することで安心してご自宅に帰れるように支援いたします。

理学療法(PT)

運動療法・物理療法を用いて、「起きる・座る・立つ・歩く」などの基本的な動作能力の改善を図る訓練を行います。また、必要に応じて補装具などの作製を行います。

作業療法(OT)

基本的な動作訓練、「着替え・排泄・整容」といった日常生活動作の訓練、家事動作訓練などを行い、円滑な自宅生活を送れるようにサポートします。また、作業活動を通して身体的・心理的な回復を促します。

言語聴覚療法(ST)

コミュニケーションに障害をもった患者さんに言語、発声・発音等の意思疎通を図る訓練を行います。また、飲みこみの障害のある方には食事方法や形態の工夫を行い安全な食事をお手伝いします。

【施設基準】 脳血管疾患等リハビリテーション(Ⅰ)、運動器リハビリテーション(Ⅰ)、呼吸器リハビリテーション(Ⅰ)、心大血管リハビリテーション(Ⅰ)、がんリハビリテーション、廃用症候群リハビリテーション(Ⅰ)





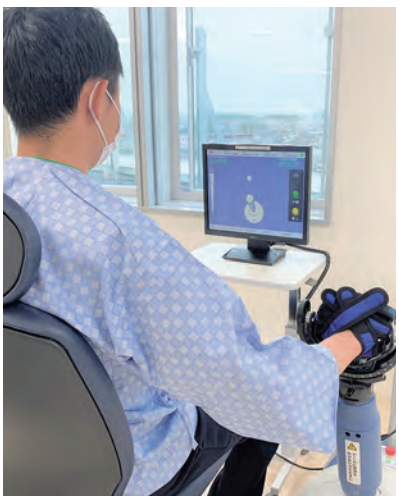


訓練用キッチン



訓練用浴室





上肢用ロボット型運動訓練装置(ReoGo-J)



ドライビングシミュレーター

臨床工学科



臨床工学技士が誕生してから約40年の月日が経ちました。我々の業務も多種に渡って増えてきております。生命に直接かかわる機器を操作・管理する当科の業務は、何事にも信用が大事です。様々な検査・治療に対して、医師・看護師・コメディカルの皆様に頼られるように迅速な対応に努めています。患者様をはじめ病院スタッフが安全かつ安心して医療機器が使用できるよう、日々保守、管理し、高度な治療や検査に24時間365日対応できる体制を整えています。

薬剤科





薬剤科では、チーム医療の一員として患者さんが安心して薬を使用していただけるように、さまざまな仕事をしています。基本院内処方を行い、多数の薬を服用している場合(自動分包機を使用して)1回に服用する薬を1包にまとめてパックすることもできます。院外処方をご希望の方はあらかじめ診察時に医師にお申し出ください。薬に関して不明なこと、疑問点がありましたら遠慮なくご相談ください。

患者さんごとに注射薬を取り揃え、安全性を確認して病棟や外来に供給しています。抗がん剤に関しては、薬剤師が安全キャビネットを使用し無菌状態で混注を行っています。病棟では、入院患者さんのベッドサイドで、薬の用法、効果、副作用などの説明をしています。病棟の医師、看護師と協力して患者さんがより安全で適切な治療が受けられるよう、活動しています。

臨床検査科





当院の検査技師は、最新医療機器の特性を最大限に引き出し、検査結果を正確に提供するために、日々研鑽に努めています。

臨床検査科では、検体検査部門、生理検査部門、病理検査部門がありますが、すべてに共通していることは、迅速性と正確性です。365日24時間稼働させることにより、一般診療、救急医療、地域医療の貢献に役立てるよう、取り組んでいます。

- **●生理検査部門**：最新の超音波診断装置も導入し、心臓、腹部、乳房、血管などあらゆる部位の検査に対応しています。
- **●検体検査部門**：各種の検査装置を導入し、バックアップを充実。迅速かつ正確なデータを24時間体制で提供しています。
- **●病理検査部門**：組織診・細胞診ともに、迅速かつ正確な診断を提供しています。また術中迅速組織診、様々な特殊染色、病理解剖にも力を入れています。

栄養科



『患者さまに寄り添った栄養管理』を栄養科理念とし、個々人に必要な栄養量を算出、提案、医師の指示のもと栄養管理や栄養指導の実施をしています。病棟専任管理栄養士が医療チームの一員として回診やカンファレンスに日常的に参加しております。最適な栄養摂取方法や食事内容を提供できるよう日々精進し、更に給食業務は専門業者に委託し、365日安全で安心な御食事の提供の為に連携しております。



●配置制度：病棟専任管理栄養士
●栄養指導：月～土(日・祝)要相談

「患者さんに笑顔と安心を届けたい」という思いを大切に、質の高い看護の提供ができることを目指しています。

看護部 理念・方針

心 私たち看護師は、患者様に一番近い存在です。患者様が最善の治療を受けられるように患者様の立場に立って考え行動します。

智 私たちは専門職として、質の高い看護を提供するため自己研鑽に努めます。

和 私たちは、チーム医療の要として他職種と患者様を繋ぐ役割を果たします。

1. 患者様を尊重し、患者様個々のニーズに応じた質の高い看護サービスを提供いたします。
2. 看護の専門性を発揮し、チーム医療の中での役割を果たします。
3. 医療事故を予防し、安全で快適な療養環境を提供します。
4. 社会の変化に対応して、自主的に学習する態度と社会人としてよい習慣を身につけます。

[看護部長のあいさつ]



看護部長
成瀬 早苗

信頼される看護部を目指して。

新久喜総合病院看護部は、救急・急性期医療から回復期リハビリテーションまで、幅広く地域の皆様を支えるべく、「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」の病院理念のもと、日々看護実践を行っています。チーム医療・多職種連携が重要視される今、私たち看護師は「チーム医療の調整役・キーパーソン」であることが求められており、その役割を果たすべく、患者さんやそのご家族に真摯に向き合い、寄り添い、必要とされる看護・支援を行えるように常に努力を続けております。

また、安全で確実な看護を実践するために、専門性だけでなく、高い倫理観・学び続ける力を養う教育に努めております。

これからも、地域の皆様に「選ばれる」、そして職員に「選ばれる」病院であり続けられるよう日々、真摯に看護に向き合いながら精進してまいります。

＜看護部組織体制＞

看護師数	約500名（令和7年4月現在）		
看護単位	12単位		
勤務体制	2交代		
看護基準	急性期病棟	257床	7:1看護
	ICU	16床	2:1看護
	HCU	20床	4:1看護
	回復期リハビリ病棟	98床	13:1看護
看護方式	固定チームナーシング		
看護記録	SOAP		

愛
技術　知識

[教　育　目　的]

看護の対象に、安全で安心と納得のできる看護を継続的に提供する。
専門職として自覚を持つ。
人間性豊かで、主体的に医療チームの連携を図ることができる看護師を教育する。

[教　育　目　標]

専門職として必要な知識・技能の向上に努め根拠に基づいた看護能力を養う。
看護のニーズを的確に把握し、変化に柔軟に対するためにアセスメント能力を養う。
看護の対象に誠実な態度で関わり、信頼関係を築ける人間性を養う。
医療チームの一員として役割を自覚し、相手の立場を考えて行動することができる。
一人一人が主体性を持って、生き生きと看護実践に臨める教育目標。

[看護部取り組み]

プリセプター制度…3日目・3週間目・3ヶ月目にプリセプターと食事会を通し公私ともに相談できる機会となっています。そして、ともに成長しています。
看護学生教育…実習指導を通し看護の楽しさ、やりがいを伝えています。指導者も看護学生に関わりながら日々学んでいます。
ふれあい看護…看護師を目指す、高校生や一般の方に看護体験をしていただけます。(毎年8月実施)
インターンシップ…看護学生さんを対象に看護体験を行っています。

[人財育成]

～ エキスパート(認定)看護師の紹介 ～



脳卒中リハビリ認定看護師　**渡部 真由美**

脳卒中の発症早期から患者様の状態を管理しながら、早期リハビリテーションを行い、住み慣れた自宅に帰れるように安全な看護を提供していきます。
脳卒中の原因でもある生活習慣病に対しての不安やご相談にもお答えしていきます。



手術室認定看護師　**南原 琴美**

手術看護は、患者様が安全でより質の高い手術を受けられるように手術中や術前・術後訪問を通して支援しています。メディアで見る『手術器械を渡す印象』があるかと思いますが、麻酔下にある患者様の権利を看護師として守るという役割も手術看護の特徴だと感じています。新久喜総合病院は地域の急性期医療を担っており、定例から緊急まで幅広い診療科の手術に携わることができ、知識・技術共にスキルアップできる環境です。手術室看護師として共に働く仲間をお待ちしています。



乳がん看護認定看護師　**西口 沙也佳**

乳がんの治療は多種多様で、治療期間も多岐にわたることがあります。みなさんが安心して治療を行えるようにサポートしていきます。些細なことでも気になること、不安に思うことがあれば気軽にお声かけください。一緒にがんばりましょう。



特定行為研修修了者　**佐藤 綾美**

当院は、断らない医療・救急をモットーとしており、私は救急医療に携わる中で、患者様にタイムリーに医療を提供したいと感じ研修を受講しました。特定行為というと、その医療行為に注目されがちですが、それだけではなく、自分の専攻した分野の知識、技術を活かしながら多職種の架け橋となり、より質の高いチーム医療が行えることを目指しています。大変な事もたくさんありますが、多くの事を学べる環境で、是非一緒に働いてみませんか。



重症集中ケア認定看護師／特定行為研修修了者　**中川 さつき**

認定看護師として、すべての患者様に対し『安心・安全』な看護の提供ができるように環境を整えています。ICUでは手術後の早期離床を目標としているため、理学療法士とともにリハビリに積極的に介入しています。



皮膚・排泄ケア認定看護師　**小林 裕子**

褥瘡や創傷、ストーマケア、フットケアなどを中心に活動しています。院内ではコメディカルスタッフとともに褥瘡予防ケア、褥瘡治療をしています。また看護外来である「ストーマ外来」を開設し、人工膀胱・人工肛門術後の患者様の退院後の支援も行っています。



慢性心不全認定看護師　**真田 春香**

心不全患者さんを生活の視点で捉え、これまでの療養行動や価値観を尊重しながら生活調整を行うことが認定看護師として重要な役割であると考えます。心不全患者さんに包括的な支援が出来るよう他職種や外来、地域と連携しながら日々の活動に取り組んでいます。



特定行為研修修了者　**松本 真季**

私は、ICUでの経験を活かして何か自分にできることは無いだろうかと思い、看護師経験10年目という節目で特定行為研修を受講しました。医師だけではなく看護師、多職種の方と経験を築きながら患者様のために日々活動に取り組んでいます。一緒に働けることを楽しみにしています。



感染管理特定認定看護師　**飯島 恭子**

感染管理の目的は、患者さんやその家族、病院への訪問者、病院職員など病院内にいるすべての人を「感染」から守ることです。感染対策は一人ではできません。ICTメンバーやリンクスタッフの協力を得ながら「手指衛生」「適切な個人防護具の使用方法と着脱」「環境整備」を中心に職員一人一人が根拠に基づいた感染対策が実施できるよう活動しています。



特定行為研修修了者　**塩川 竜馬**

専攻した分野の知識・技術を活かしながら患者様の状態に応じた適切なタイミングで特定行為(診療の補助)を行う事は患者様の苦痛の軽減、早期回復、安心した療養生活につながります。また、多職種との連携を活かし、よりよい看護が行えるよう心掛けています。興味がありましたら、一緒に働いてみませんか？

地域医療支援センター

地域医療連携とは、地域の病院や診療所がお互いに連携し合い、それぞれの医療機関の特長を有効に活用することにより、地域の皆様方に負担の少ない継続性のある最適な医療を、地域全体で提供する取り組みのことです。

当院ではこのような医療連携を進めており、受診時から入院、退院まで包括した支援を行い、安心して頂けるよう「地域医療部」を設置し業務を行っています。

[医療相談課のご案内]

医療相談課とは、病気になると、健康なときには思ってもいなかったようないろいろな問題が起きてきています。当院では、皆様の悩みや問題を一緒に考えていく専門の相談員(医療ソーシャルワーカー)がいます。相談内容については、秘密を厳守しておりますので安心してご利用ください

[相談内容]

○経済的な心配ごと
○入院生活についての心配ごと
○退院後についての心配ごと
○社会福祉制度や保険制度の活用

[ご利用方法]

医師・看護師など、病院職員にお申し出ください。電話でのご相談もお受けいたします。相談予約の連絡をいただくとスムーズです。また、入院時の看護師の聞き取りで早期にお手伝いが見込まれる患者さまには、こちらからご連絡させていただいています。

[地域医療課のご案内（医療連携）]

地域医療課とは、医療の機能分担や専門化を進め、当院と各医療機関・各施設等がお互いに円滑に医療連携を進める為の窓口として、業務を行っています。

地域医療課では、かかりつけの先生や地域の医療機関、施設等と連携して診療・検査及び入院が必要な患者様の受け入れを行っております。ご不明な点がございましたら、お気軽に地域医療課(連携室)までお問い合わせください。

[健康教室]

地域住民の方へ向けて、健康教室を開催しております。
健康教室を通じて当院の医師や看護師、医療技術部、事務部による講演（教室）を行い、病気のことから、早期発見・早期治療、病気にかからないための予防（健康体操など）、医療に関する内容を分かりやすく啓蒙しています。

毎週木曜日 開催



[医療連携の会（学術講演会）]

地域の医療機関の先生方や医療スタッフの方・救急隊の方との交流の場として、定期的に担当診療科別に症例報告を兼ねて、地域の各医療機関の先生、職員の方、各救急隊の方々を対象に連携会を開催しております。
また、外部からも著名な先生方を講師としてお招きし、特別講演を行い、地域全体で、より専門的な医療知識の向上にも努めています。



臨床研修医制度・専門医制度

[臨床研修制度]

当院では厚生労働省より基幹型臨床研修病院の指定を受け、これからの医療を担う若い医師の教育指導に力を注いでいます。2017年4月から初期研修医が当院にて臨床研修に取り組んでいます。

[教育指導の特徴]

- 年間多くの救急症例に接し、学ぶことができます。
- 各診療科の手術も毎月多く実施しており、積極的に手術に入ることができます。
- 多彩な急性・慢性疾患について病棟ベッドサイドでの臨床指導を行います。
- 他科との壁が存在せず、他科医とも気軽に話しができます。

[研修の特徴]

現在の地域の医療需要に対応するプライマリ・ケアの能力に優れた医師を養成するために、総合診療方式において研修を行います。当院のプログラムでは、研修医が将来、専門でない分野における臨床経験が不十分なまま医師とならないように、専門分野の疾患の治療と共に、医師として、患者様及び家放の方々の抱える様々な身体的・心理的・社会的問題を認識・判断し、問題解決を図ることができるような能力、つまり全人的に患者様を診療する能力を身に着けることを目指しています。





[専門医制度]

[基本領域] 2018年4月に開始された新専門医制度において、基本領域である内科、外科、救急科の専門研修基幹施設の指定を受けています。臨床研修修了後の専門研修についても教育指導に力を注いでいます。

[サブスペシャリティー] 基本領域にて専門医を取得後は、サブスペシャリティー領域の専門研修が行えます。









院内の施設紹介



[1 階フロア]

1階エントランス部分は吹き抜けになっており、2階の天井部から差し込む外からの光が、館内全体を明るく包みます。



[待合室]

外からの優しい光があふれる待合室。
リラックスした気持ちでお待ちいただけます。



[自動受付機]

再来の方は、自動受付機でスムーズに受付をしていただけます。



[自動精算機]

窓口だけでなく、クレジットカードもご利用いただける自動精算機を備えていますので、待ち時間を短縮できます。



[総合受付カウンター]

初診・再診の受付からお会計、各種手続きなどに対応しています。
ご不明な点や、お困りの事があれば、お気軽にご相談ください。





[ATM]

営業時間／7:30～18:00



[入院セット受付]

営業時間／9:00～17:00



[カフェ]

コンビニエンスショップの奥に、焼きたてのパンをお楽しみいただけるカフェを設けています。

営業時間／平　日　9:00～17:00
定 休 日／土・日・祝日







[売店]

売店としてはもちろん、ゆうパックやFAXのサービスもあります。公共料金などの支払いもできます。

営業時間／平　日　7:30～18:00
土 曜 日　8:00～15:00
日・祝日　8:00～14:00



新病棟の施設紹介

患者様によりそい、地域によりそい、
信頼の医療を提供するパートナーとして―。

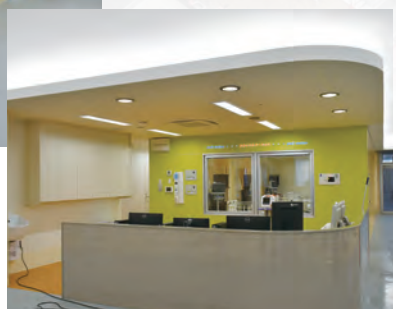
令和3年4月より新病棟が完成、391床で稼働。
地域から必要とされる医療、高度急性期病院として、
24時間365日断らない医療を目指していきます。





ICU病棟：高度急性期病床16床360℃見渡せる病棟





HCU病棟：ハイケア病床16床



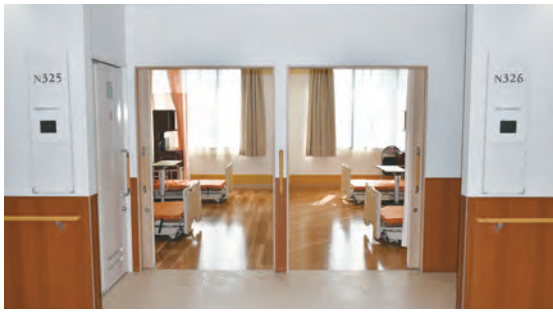
ICU兼HCU入院患者様ご家族待合室





新棟3階病棟 ―― 各部屋は窓が大きく優しい日差しが入ります









患者様用の広い洗面台



浴室



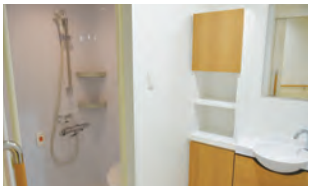
脱衣所







病室(個室)のお手洗



病室(個室)のシャワー室



高度先端医療機器

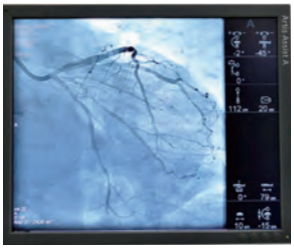
ハイブリット手術室

カテーテル治療、外科手術のいずれにも対応し、さらに画像データをリアルタイムに手術に反映することができる新時代の手術室です。従来の手術の質のさらなる向上と、Hybrid手術室でしか行うことが出来ない新しい手術を可能にします。



アンギオグラフィー（血管造影装置）

脳・心臓から四肢にいたるまで、全身の血管を細部までくまなく描写することを可能とした装置です。また、描写だけに留まらず脳血管障害、心筋梗塞ならびに交通外傷等に対する最先端「血管治療」にも威力を発揮します。





ダビンチ Xi（手術支援ロボット）

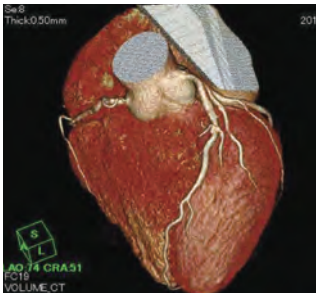
ダビンチサージカルシステムは「ロボット」、「コンピューター」、「光学」の各技術を応用して、外科医が行う低侵襲手術を支援する最新医療機器です。より複雑で難しい手術に対する低侵襲手術の可能性がさらに広がります。

da Vinci Surgery



CT（320列CT）

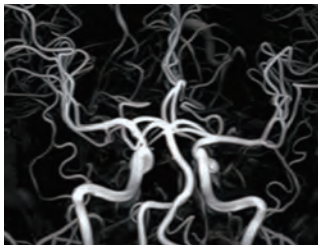
世界最高水準の性能をもつ320列CT装置導入により、脳や心臓などが瞬時に撮影可能となりました。また、造影剤量を最小限に抑えることができ、さらには放射線被ばくの大幅な低減により患者さまの負担も軽減することができます。
今回の導入により、更なる最先端医療を提供いたします。





MRI（磁気共鳴画像）

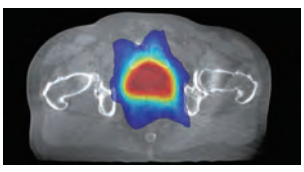
最新・高水準3テスラ、1.5テスラの装置を2機導入し、24時間いつでもあらゆる部位の検査を可能とします。最新システムにより、全身の各臓器・血管形態はもとより、心臓、心血管に対しても非侵襲的に描出することを可能としています。





リニアック（放射線治療装置）

癌の根治的治療、癌の集中学的治療、癌症状の緩和治療。全身のどの部位でも治療可能な装置です。外部から放射線を照射することにより、癌を破壊したり進行を抑制したりする効果を与えます。また、強度変調放射線治療(IMRT)により、通常の照射方法に比べ、正常組織の副作用を抑え、腫瘍に線量を集中することが可能です。治療を受ける際は、10～20分間、仰向けに静止して寝ているだけで、身体への負担を感じることはありません。





教育研修・海外交流

海外研修など幅広い活動で、人材育成に力を入れています。

- アメリカ研修
- オーストラリア研修
- ドイツ研修
- カンボジア小児病院研修及びボランティア活動

新人職員の卒後教育、幹部養成教育への取り組みとして、各チームごとのミニ研修から学識経験者等を招いての講演会、さらに海外研修まで幅広く研修活動を行っています。また、米国スタンフォードで研修制度をはじめ、国内外の研究発表にも積極的に参加。医局、看護部を問わず、毎年数十件の論文、研究発表を行っております。





アンコールフレンズ基金

アンコール小児病院は、アンコール・ワットで有名なカンボジアのシェムリアップ市に、1999 年 1 月に開院しました。ニューヨークに本部を置くフレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー（国境のない友達）の最初のプロジェクトとして建設された病院です。ニューヨークの写真家井津建郎氏が、アンコール・ワットの遺跡の写真を撮っていた時、周りに大勢の子供たちが集まってきました。子どもたちの中に地雷で手足を失ったり、顔が傷ついた子どもたちを見て、「傷ついた子どもや、マラリア、デング熱にかかっても、貧しさのため治療が受けられない子どもたちのために、小児病院をつくろう」と決心したのがきっかけです。私たちは、フレンズ JAPAN の理事長であり医療顧問である当病院のカマチ会長をはじめ、職員全体で支援しています。

1 年間、一口 3,000 円のアンコールフレンズ基金を設立しましたので、ご協力をお願いします。



■認定 NPO 法人 フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN
TEL/FAX：03−6421-7903

充実の厚生施設やイベントで、明日の英気を。

当院では毎年、国内外の院内旅行を実行しているほか、
保養所等の厚生施設やイベントの充実に努めています。
リフレッシュすることで、新たな意欲を生み出しながら、
日々向上心を持って働くことができるように考えております。


玄海サンセット


湯布院


九重


那須


ベイコートクラブ


富津保養所

病院隣接、オール電化の快適な宿舎。

病院に隣接する寮は平成 28 年7月に完成しました。
室内はフローリングに備えつけの大容量クローゼットで収納も安心。
オール電化でとても快適に生活ができます。

- 全室個室
- 1 ルーム
- 冷暖房・バス・トイレ・キッチン・給湯設備付
- 家賃は病院から補助有

※部屋数に限りがありますので先着順となります。駐車場はお問い合わせ下さい。







グループ一覧・関連施設



一般社団法人 巨樹の会(回復期病院)
八千代リハビリテーション病院
〒276-0015　千葉県八千代市米本1808番地
TEL:047-488-1555／FAX:047-488-1552
www.yachiyo-reha.com



一般社団法人 巨樹の会(急性期・回復期病院)
新上三川病院
〒329-0611　栃木県河内郡上三川町上三川2360番地
TEL:0285-56-7111／FAX:0285-56-7165
www.kaminokawa-hp.jp



一般社団法人 巨樹の会(回復期病院)
宇都宮リハビリテーション病院
〒321-0982　栃木県宇都宮市御幸ヶ原町43番2号
TEL:028-662-6789／FAX:028-660-1041
www.utsunomiyarh-hp.jp



社会医療法人社団 埼玉巨樹の会(回復期病院)
明生リハビリテーション病院
〒359-1106　埼玉県所沢市東狭山ヶ丘4丁目2681番2号
TEL:04-2929-2220／FAX:04-2939-2136
www.meisei-reha.jp



社会医療法人社団 埼玉巨樹の会(高度急性期・急性期)
所沢美原総合病院
〒359-0045　埼玉県所沢市美原町2丁目2934-3
TEL：04-2997-8199／FAX:04-2997-8196
tmgh.jp/mihara/



医療法人社団 銀緑会(回復期病院)
みどり野リハビリテーション病院
〒242-0007　神奈川県大和市中央林間2丁目6番17号
TEL:046-271-1221／FAX:046-271-1220
www.midorino-hp.jp



医療法人社団 巨樹の会(回復期病院)
蒲田リハビリテーション病院
〒143-0015　東京都大田区大森西4丁目14番5号
TEL:03-5767-7100／FAX:03-5767-7107
www.kamata-rh.net



医療法人社団 巨樹の会(回復期病院)
小金井リハビリテーション病院
〒184-0013　東京都小金井市前原町1丁目3番2号
TEL:042-316-3561／FAX:042-316-3562
www.koganei-rh.net



医療法人社団 巨樹の会(回復期病院)
赤羽リハビリテーション病院
〒115-0055　東京都北区赤羽西6丁目37番12号
TEL:03-5993-5777 ／FAX:03-5993-5778
www.akabane-rh.jp



一般社団法人 巨樹の会(回復期病院)
松戸リハビリテーション病院
〒270-2232　千葉県松戸市和名ヶ谷1009番地の1
TEL:047-703-1555／FAX:047-703-1556
www.matsudo-reha.com



一般社団法人 巨樹の会(回復期病院)
千葉みなとリハビリテーション病院
〒260-0024　千葉県千葉市中央区中央港1丁目17番18号
TEL:043-245-1555／FAX:043-245-1558
www.minato-reha.com



医療法人社団 巨樹の会(回復期病院)
原宿リハビリテーション病院
〒150-0001　東京都渋谷区神宮前6丁目26番1号
TEL:03-3486-8333／FAX:03-3486-8334
www.harajuku-reha.com



医療法人社団 巨樹の会(回復期病院)
五反田リハビリテーション病院
〒141-0031　東京都品川区西五反田8丁目8番20号
TEL:03-3779-8820／FAX:03-3779-8823
www.gotanda-reha.com



社会医療法人社団 埼玉巨樹の会(急性期・回復期病院)
新久喜総合病院
〒346-8530　埼玉県久喜市上早見418-1
TEL:0480-26-0033／FAX:0480-44-8026
www.shinkuki-hp.jp



医療法人社団 巨樹の会(回復期病院)
江東リハビリテーション病院
〒136-0073　東京都江東区北砂2丁目15-15
TEL:03-6880-1555／FAX:03-6880-1556
www.koto-reha.com



社会医療法人社団 東京巨樹の会(急性期・回復期・緩和ケア病院)
東京品川病院
〒140-8522　東京都品川区東大井6丁目3番22号
TEL:03-3764-0511／FAX:03-3764-3415
tokyo-shinagawa.jp



一般社団法人 巨樹の会(回復期病院)
新宇都宮リハビリテーション病院
〒321-0941　栃木県宇都宮市東今泉2丁目5番地31号
TEL:028-666-4880／FAX:028-666-4887
shin-utsunomiya.jp/



社会医療法人財団 池友会(急性期・回復期病院)
福岡和白病院
〒811-0213　福岡県福岡市東区和白丘2丁目2番75号
TEL:092-608-0001／FAX:092-607-3051
www.f-wajirohp.jp



社会医療法人財団 池友会(急性期病院)
新小文字病院
〒800-0057　福岡県北九州市門司区大里新町2番5号
TEL:093-391-1001／FAX:093-391-7001
www.shinkomonji-hp.jp



社会医療法人財団 池友会(急性期・回復期病院)
新行橋病院
〒824-0026　福岡県行橋市道場寺1411番
TEL:0930-24-8899／FAX:0930-22-5551
www.shinyukuhashihospital.or.jp



社会医療法人財団 池友会(急性期病院)

福岡新水巻病院

〒807-0051　福岡県遠賀郡水巻町立屋敷1丁目2番1号
TEL:093-203-2220／FAX:093-203-2221
www.f-shinmizumaki.jp



一般社団法人 巨樹の会(急性期・回復期病院)

新武雄病院

〒843-0024　佐賀県武雄市武雄町大字富岡12628番地
TEL:0954-23-3111／FAX:0954-23-0208
www.shintakeo-hp.or.jp



社会医療法人財団 池友会(回復期病院)

香椎丘リハビリテーション病院

〒813-0002　福岡県福岡市東区下原2丁目24番36号
TEL:092-662-3200／FAX:092-662-3303
www.kashii-rh.net



一般社団法人 巨樹の会(回復期病院)

下関リハビリテーション病院

〒750-0064　山口県下関市今浦町9番6号
TEL:083-232-5811／FAX:083-232-0219
www.shimoreha.jp



社会医療法人財団 池友会

福岡和白PET画像診断クリニック

〒811-0213　福岡県福岡市東区和白丘2丁目2番76号
TEL:092-608-1166／FAX:092-608-1515
www.fwpet.net



社会医療法人財団 池友会

福岡和白総合健診クリニック

〒811-0213　福岡県福岡市東区和白丘2丁目11番17号
TEL:092-608-0138／FAX:092-607-5504
www.fw-kenshin.net



学校法人 巨樹の会

八千代リハビリテーション学院

〒276-0031 千葉県八千代市八千代台北11丁目1番30号
TEL:047-481-7320／FAX:047-481-7321
www.yachiyo-reha.jp



学校法人 巨樹の会

下関看護リハビリテーション学校

〒750-0025　山口県下関市竹崎町3丁目4番17号
TEL:083-222-0606／FAX:083-222-8906
www.shimonoseki-reha.jp



学校法人 巨樹の会

小倉リハビリテーション学院

〒800-0206　福岡県北九州市小倉南区葛原東2丁目2番10号
TEL:093-473-8005／FAX:093-473-8159
www.kokura-reha.jp



学校法人 巨樹の会

福岡水巻看護専門学校

〒807-0051　福岡県遠賀郡水巻町立屋敷1丁目14番51号
TEL:093-201-5233／FAX:093-201-5234
www.kango-mizumaki.jp



学校法人 巨樹の会

武雄看護リハビリテーション学校

〒843-0024　佐賀県武雄市武雄町大字富岡12623番地
TEL:0954-23-6700／FAX:0954-23-6710
www.takeo-nurse-reha.jp



社会医療法人財団 池友会(回復期病院)

青山リハビリテーション病院

〒806-0043　福岡県北九州市八幡西区青山1丁目7番2号
TEL:093-642-0070／FAX:093-642-0080
aoyama-rh.jp/



医療法人社団 銀緑会

よしき銀座クリニック

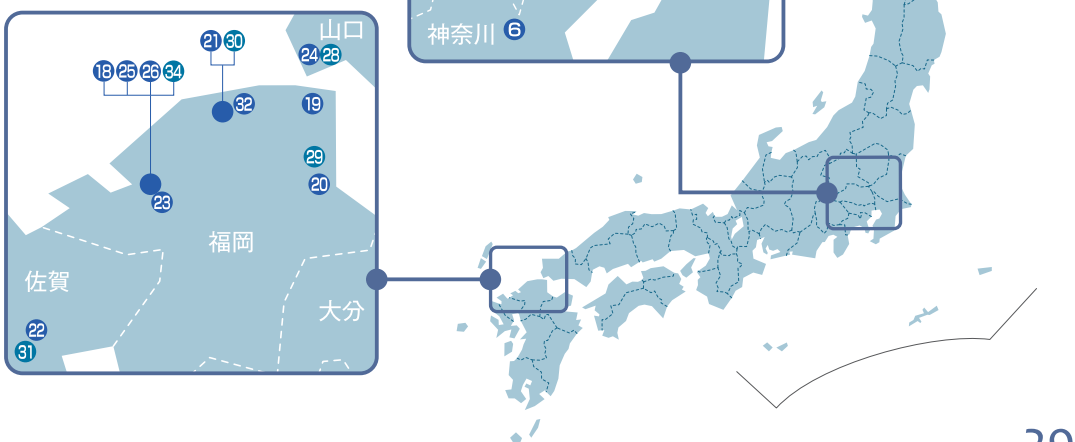
〒104-0071　東京都中央区銀座8-9-1 銀座中央通りMMビル4階～8階
TEL:03-6280-6880
yoshiki-clinic.com/



学校法人 巨樹の会

令和健康科学大学

〒811-0213　福岡県福岡市東区和白丘2丁目1番12号
TEL:092-607-6701／FAX:092-607-6740
www.rhs-u.ac.jp



病院概要

開　　設：2016年4月1日
院　　長：秋元 寿文
診療科目：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、代謝・糖尿病内科、腎臓内科、脳神経内科、リウマチ科、外科、消化器外科、肛門外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、乳腺外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科
病 床 数：391床(急性期病棟:257床、ICU病棟:16床、HCU病棟:20床、回復期リハビリテーション病棟:98床)
職 員 数：1,200名(看護師500名)
看護基準：一般：7対1　　回復期：13対1
看護単位：一般病棟5病棟・回復期病棟2病棟・ICU・HCU・手術室・外来
現　　況：外来患者数1日約500名
新規入院患者数：月約700名
入院患者の平均在院日数：10日
救急搬入患者数：月約640件
手術件数：月約330件
施設規模：構　　造：鉄筋コンクリート造
敷地面積：約48,500平方メートル
延床面積：約28,900平方メートル
階　　数：地上6階

お車の場合

県道3号、久喜市上早見の交差点を菖蒲方面に曲がり約250m(久喜ICより約3分)
駐車台数／約530台
駐車料金／外来患者様:6時間まで100円(6時間を超えた場合は1時間につき100円)
30分以内の出庫は無料となります。

電車の場合

JR宇都宮線・東武伊勢崎線「久喜駅」西口下車、徒歩約30分またはバス約10分

バスの場合

[朝日バス]「久喜駅」西口から約10分
久西01　「菖蒲仲橋」行き「新久喜総合病院前」下車
久西02　「菖蒲仲橋」行き「新久喜総合病院(玄関)」下車
[久喜市市内循環バス]
「除堀・所久喜循環」→「新久喜総合病院前」下車
「六万部・北中曽根循環」→「新久喜総合病院前」下車



カマチグループ

社会医療法人社団 埼玉巨樹の会

新久喜総合病院

〒346-8530　埼玉県久喜市上早見418-1

TEL 0480-26-0033

受付時間 AM 8:30 ～ 11:30 ／ PM 14:00 ～ 17:00
※但し、急患の場合は24時間診療いたします。
E-mail：info@shinkuki-hp.jp
URL：www.shinkuki-hp.jp

[各種指定・認定]

＜各種指定＞

- 保険医療機関
- 救急告示病院
- 災害拠点病院
- 地域医療支援病院
- 紹介受診重点医療機関
- 埼玉県がん診療指定病院
- 埼玉県立がんセンター医療提携施設
- 輪番制2次救急病院
- 労災指定病院
- 生活保護指定病院
- 結核予防指定病院
- 更生医療指定病院
- 原爆医療指定病院
- 戦傷病者特別援護法指定病院
- 公害健康被害補償法指定病院
- 難病指定医療機関
- 基幹型臨床研修病院
- 埼玉県DMAT指定医療機関
- 日本医療機能評価機構認定病院
- DPC特定病院群

＜教育研修病院認定施設(新専門医制度)＞

- 日本内科学会認定医制度教育関連病院(専門研修基幹施設)
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設(専門研修基幹施設)
- 日本形成外科学会(専門研修連携施設)
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設(専門医養成プログラム連携施設)
- 日本脳神経外科学会(専門研修連携施設)
- 日本救急医学会(専門研修連携施設)
- 日本麻酔科学会認定研修施設(専門研修連携施設)
- 日本医学放射線学会認定修練機関(専門研修連携施設)
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本呼吸器外科学会専門研修連携施設
- 三学会構成心臓血管外科(専門医認定基幹施設)
- 循環器専門医研修施設(研修施設)
- 日本脳卒中学会認定研修教育病院
- 日本脳卒中の外科学会技術認定制度
- 日本がん治療認定医機構研修施設
- 日本腎臓学会研修施設
- 日本乳癌学会認定医制度関連施設
- 日本大腸肛門病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本腹部救急医学会認定施設
- 再建マイクロサージャリー分野指導医研修施設
- 日本創傷外科学会専門医研修施設
- 日本病院総合診療医学会認定施設
- 心血管インターベンション治療学会研修施設
- 日本肝胆膵外科高度技能専門医修練施設
- 日本泌尿器学会専門医教育施設拠点教育施設
- 日本外科感染症学会周術期感染管理医教育施設
- 不整脈専門医研修施設
- 日本超音波学会認定研修基幹施設
- 日本脊髄外科学会認定訓練施設(機構専門研修施設A)
- 日本消化器病学会関連施設
- 日本膵臓学会認定指導施設
- 日本集中治療医学会集中治療科専門研修施設
- 心臓血管麻酔専門医認定施設
- 日本胃癌学会認定施設
- 日本臨床腫瘍学会認定研修施設(特別連携施設)

2025.9